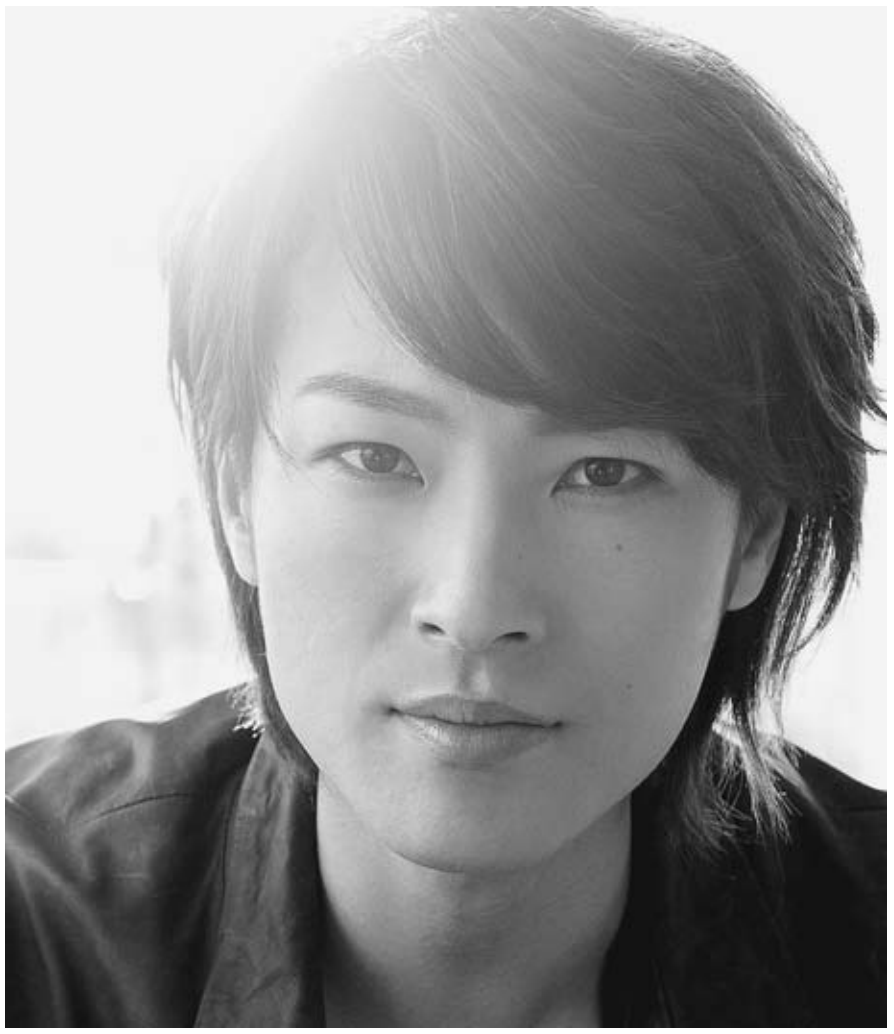
みんなの歌謡曲
第118号
無　料
発行元：オフィス香音（かのん）
担 安松
〒270-2251
松戸市金ヶ作43-118
(090)1558-4391
FAX. 047(388)3619

◆◆みんかよネット　http://www.minkayo.com/◆◆(配布店はこちらをご参照下さい)

銀幕歌謡第二弾〝男には帰る場所がある〟
山内恵介「涙くれないか」

作曲・水森英夫氏とJ―POPのヒットメーカー、松井五郎氏による銀幕歌謡をテーマにした「冬枯れのヴィオラ」で新たな世界観に挑戦し、小説や映画のような〝物語〟の中に聴き手を引き込んだ山内恵介さん。待望の銀幕歌謡第二弾！新曲「涙くれないか」（詩：松井五郎／曲：水森英夫／編：伊戸のりお）が5月30日にリリースされます。今回も2タイプのカップリング（ジャケット）の同時リリースに！。今作は「幸福の黄色いハンカチ」の主人公の若者版とも言える作品。再び新たな物語の世界へと聞き手を誘う山内さんに話を伺いました。



――前作「冬枯れのヴィオラ」で、銀幕歌謡をテーマに新たな世界観へ挑戦されましたが、歌い重ねるなかで、あらためて感じられたことなどはありましたか？

山内　いつも緊張感を持って歌と向かい合うということは変わりませんが、前作については、キー（音域）設定が自分の最大限の音域を使って歌っていることもあり、これまでの作品とは違った緊張感がありますね。

毎回、そのハードルを超えられるか、今日もこの声出るかな…という不安もありながら、だからこそ歌い上げた時の喜びが大きい。自分の一番高い音が出なければ、この歌の意味は伝わらないということがよくわかりました。

――技術的な挑戦でもあったわけですね。

山内　今までは歌詞先行で作られた作品が中心で、「冬枯れ～」からはメロディー先行になったという作品の印象の違いがあるかもしませんが、歌手として十二年目を迎えて〝どれくらい恵介が歌いこなせるだろうか…〟というような、水森先生に試されているようなところがあったような気がします（笑）。

――今回の新曲『涙くれないか』は、前作同様、松井先生と水森先生のコンビによるものですが、作品のイメージが前作とはガラリと違いますね。女性としては歌に登場する男性像や言葉のフレーズに男の身勝手さを感じつつも、そのストレートさに心許してしまいそうな感じが…（笑）。

山内　今の感想を聞いて、やはり男性と女性とでは歌から伝わるイメージが違うのだな…って、あらためて感じましたね。僕はその部分は身勝手さやズルさだとは思いたくはなくて、そこつ意味合いなのかなって。それに「涙くれないか」って、お客さんに言うことで、正直さとして受け止めてもらいたいなって（笑）。きっとそれをどうお客さんが受け止めてくれるのかな…って、それを考えることがとても新鮮に感じられましたね。

特に「～してくれないか」というフレーズ、その言葉のストレートさに逆に僕がどう責任を持つか…。それを言葉にした以上、精神誠意それを受け止められる自分でいなければいけないなって、強く感じる部分でもあります。歌の中に存在する自分や、そのリアリティー（真実）を大事にしながら歌っています。

また、この歌は確かに男女の恋愛が描かれてはいますが、聴く人たちは様々、帰る場所はそれぞれ違っている。ですから、恋愛に限定されることはなく、愛する対象、すべてに繋がっていると思います。

きっとそこに帰ることによって、忘れていた大切なものを思い出す事が出来る…。人は大切なものほど失いがち。それを呼び起こす、思い出す役目を歌い手としてやっていきたいし、届けていけたらと思っています。

――歌唱という技術面でファンにアドバイスするならどんなところですか。

山内　やはり「涙くれないか」というストレートなフレーズですね。この歌に関しては、服を脱いで裸になるような気持ちで歌っています。自分の心をさらけださないと相手もさらけだしてはくれないですからね。

――カップリングの「ちょっと、せつないな」は昭和のリズム歌謡を思わせる対極の魅力がありますね。レコーディングの取り組みも全く違うものになったのではないでしょうか。

山内　全く違います。重さが違う。同じストレートでもすっと入ってくるのがこの歌の魅力ですね。歌としての取り組み方で言えば、まずはリズム感。でも、リズムを大事にしなければいけないとは思いますが、歌は心、多少リズムに遅れようと、早まろうと心で歌うことが大事だと思っています。

また、「涙くれないか」は、様々な人の人生を思い浮かべながら、また皆さんの思いを受け止めながら歌っているとしたら、「ちょっと、せつないな」は、嬉しい時は嬉しい、悲しいときは悲しい、切ないときは切ないといった素直な心情を歌っているところに違いがあります。

人間って、ちょっとした切なさをどんな人も抱えながら生きているのではないでしょうか。幸せな人でさえ、100％で幸福感を感じているわけでなく、どこかに少しの隙間や切ない想いがある。僕自身もどんなに歌えることに幸せや喜びを感じ、沢山の拍手や声援を頂いて最高のステージに立っていても、終わった後は安堵感とちょっと切なさを感じることがある。この切なさがあるから、また次も頑張れる、人を支えているものだと思うんです。このほんの少しの満たされない感じが付いて回るのが、僕はいいなって思っているんですよ

――今回も異なるカップリング・ジャケットの同時リリース。星盤と月盤というネーミングも山内さんらしいとても美しく雰囲気があります。

山内　僕もすごく気に入っています（笑）。

――星盤のカップリングは「冬枯れのヴィオラ」のアコースティックバージョンですが、シャンソン的な情感を感じます。オリジナルのレコーディングと比べていかがでしたか？

山内　今まで歌ってきて、僕のなかでこの歌の世界観、架空の舞台が出来上がっていることもあり、それを思い浮かべて歌っているので、そういった意味でも説得力の面では前回とは全く違うものになっているかもしれませんね。

――二十代最後の誕生日前日に新曲のリリース。二十代の締め括りを迎えますが、今後の活動予定を。

山内　こんな風に新曲の発表とともに二十代最後の誕生日を迎えられるのは幸せだなって思っています。

これから『二十代最後！惠介魅せます。』というタイトルで全国コンサートを行う予定です。今回のステージでは石原裕次郎さんや、鶴田浩二さん、赤木圭一郎さんなど、銀幕スターの歌謡の世界を色濃く出していこうと思っています。楽しみにしていて下さい。

山内恵介　プロフィール

本名：山内恵介
生年月日：昭和58年５月31日
出身地：福岡県糸島市（前原市）
血液型：O型、好物：ワイン
主なシングル：
2001・４月『霧情』、2008・10月『恋する街角』、2009・９月『風蓮湖』、2011・２月『白樺の誓い』、2011・９月『冬枯れのヴィオラ』

◎コンサート
『山内惠介コンサート2012～20代最後！惠介魅せます～』スケジュール
６月２・３日東京・浅草公会堂
６月９日名古屋・名鉄ホール
６月30日大阪・メルパルク大阪
９月７日福岡・福岡サンパレスホテル＆ホール
９月28札幌・札幌市民ホール

誰もが持つ心のふるさとの歌
歌の手帖Ｋリーグで１年間
１番多く歌われた楽曲です！

Nobby（ノビー）
「母の鞄」
ＤＡＭ：1656-35
ＵＧＡ：2938-63
Ｃ／Ｗ「越名恋唄（こえな）」も好評！
ＤＡＭ：2621－91
発売：ウイングジャパン／ＷＪＣＲ30057
☎ ０３－６２２８－３１２２

話題の新曲…好評発売中！
みれん川
（詩・新條カオル／曲・櫻田誠一）
平浜ひろし
ＤＡＭ：２９７４－３７
Ｃ／Ｗ　俺のおふくろ
ＤＡＭ：２９６４－９１
発売：日本クラウン
問０４２－７５５－７８９８